

# 日本災害看護学会 令和6年能登半島地震災害看護プロジェクト活動報告

報告年月日：2024年2月16日（金）

活動隊員：河原千都 寺田英子

## 1. 活動期間

2024年2月12日（月） 12時 ～ 2024年2月15日（木） 12時

## 2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校（石川県珠洲市大谷町1字78番地）

避難所使用者数 34人（一時避難者あり） 20世帯（2月12日現在）

## 3. 石川県珠洲市の被害状況（2月13日 14:00時点 石川県庁情報）

人的被害 死者：102人 うち災害関連死：6人 負傷者：重傷47人、軽症202人

住家被害 全壊・半壊・一部損壊：11,554棟

## 4. 避難所の概要

### 【避難者数】

大谷小中学校からの2次避難者：60人（最終2月2日）

1.5次避難者：7人（最終1月29日）

～派遣期間中の避難者数の推移～

2月12日：34人

2月13日：40人

2月14日：38人

2月15日：39人

・大谷地区以外に避難された方が一次的に片付けの為に帰還し、その間避難所に宿泊された方での増減がみられた。

・派遣期間中は、1.5、2次避難所から完全帰還された方はなかった。

### 【避難所運営】

避難所管理者および地域ボランティアによって自治運営されている。外部支援として千葉県県庁職員と救護要員である日本災害看護学会看護師が交代制で常駐している。

### 【避難所の生活状況】

電気、通信状況は復旧しているが、上下水道は未だ使用出来ず、ペットボトルの水の支援だけでなく山水や雨水を有効利用し生活を送っている。

日中はほとんどの方が、仕事や学校、家の片づけなどで不在である。残った避難者は体育館の清掃やラジオ体操、食事の準備など運営に参画しており、一定の生活リズムがある。全体的には落ち着いた印象である。

## 5. 支援活動の実際

### 【被災者への生活支援と健康支援】

定期的な健康観察（降圧剤内服者の血圧測定や経過観察の必要な方の状況確認など）と健康管理上必要な行動に対する声かけ、感染管理上必要な清掃、消毒、換気などの環境調整を実施した。

また、体調不良者に関しては巡回診療や、必要時保健医療福祉調整本部と相談して対応した。

発災から1か月半が経過して復旧・復興の疲労が蓄積している時期でもあり、リラクゼーションのためのケアとして、避難者と小学校の教職員にハンドマッサージや足湯を実施した。実施中に発災時のこと、現在困っていること、つらかったことなどを話される方もいた。

### 【中長期に向けた地域全体の継続支援の検討】

中長期に向けてフェーズが変化していく中で、この地域の在宅避難者や地域内の他の避難所の状況を確認する必要があると考え、在宅避難者の平時の状況と現在の状況について、避難所管理者、消防、本部要員等に情報収集を行った。消防の話では気になる在宅避難者を把握しており、本部管轄の地図に住居の位置がプロットしてあった。実際に避難所を訪問し確認したところ、ほとんどの避難者は何らかの方法で通院可能であった。

地域内の他の避難所のニーズ調査を行うにあたり、保健師チームとJDAT(日本災害歯科支援チーム)と同行できるよう時間調整を行うとともに情報共有を行い、3者で訪問した。

また、当避難所においては、週1回の医療チームの巡回診療の終了についての打診があった。住人が自立して受診行動がとれること、もしくは家族などの支援によって受診が可能であることを避難所管理者と救護班で確認し、終了することを決定した。

在宅避難者については、先行隊が一定の情報を把握していた。在宅避難されている要配慮者については、今後の支援の継続について、避難所責任者や保健師チーム、JRAT（一般社会法人日本災害リハビリテーション支援協会）と情報共有し、専門チームで訪問後今後の支援の方向性について個別の課題を挙げながら3者間で協議した。

## 6. 支援活動を通しての課題

1. 健康管理活動としての避難者、運営者、学校教員も含めたストレスに対する支援の必要性がある。
2. 中長期に移行していくこの時期の支援として、当避難所のことだけではなく、被災者の暮らす地域全体に目を向け、地域の医療提供体制再建の状況、避難所から仮設住宅に移行していく過程で予測される課題を見据えた自立支援の方法を検討していく必要がある。
3. 高齢化の著しい過疎地域での在宅避難者を一人も取りこぼさないための多職種連携の在り方や地域包括ケアシステムを基盤にした支援の在り方、地域コミュニティのもつレジリエンスや復興への思いを尊重した支援の在り方などを探っていく必要がある。
4. 中長期にフェーズが移行していく段階で、保健医療福祉調整本部の方針と被災者のニーズのずれがないように丁寧に調整していく必要がある。

以上

参考：活動の様子



写真1 ハンドマッサージを実施している様子



写真2 足湯を実施している様子



写真3 保健師チームとの打ち合わせ



写真4 保健師チームと地域内の避難所訪問の様子



写真5 保健師チーム、JDATと避難所訪問の様子



写真6 避難所責任者、保健師チーム、JRATとの会議の様子

※避難者および各支援チームには、撮影と学会ホームページ掲載の許諾を得ている。